

平成26年度 企画政策部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(企画政策部関係分)

政策 05 都 市 基 盤	政策展開の方向性																											
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたにぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。																											
	平成26年度の取組状況報告 (前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載)																											
	05-01 市街地整備の推進																											
	<p>・「都市計画マスタープラン2014」に基づき、「駅を中心とした集約型都市構造」「地域経済の活性化」「災害に強い安全・安心な都市環境」「江別市の特性を活かした魅力ある都市」を都市づくりの目標とし、土地利用や都市施設の整備などに向けた取組を進めました。その目標実現に向け、関係機関と協議調整を進めるとともに、各関連個別計画を推進しました。成果指標である「市街地整備に満足している市民割合」は、横ばいとなったものの、7割を超える水準を保っています。</p> <p>・駅周辺の安全性・快適性を向上させるため、駅周辺のバリアフリー化の促進として、引き続き、野幌駅・江別駅周辺の交通施設整備計画に併せて駅周辺のバリアフリー化を関係機関等とともに進めました。</p> <p>・高齢者の住みかえを支援し、子育て世代の移住を進めるため、住みかえニーズの把握と住みかえ先の整備などに向けた取組を進めました。平成26年度は、ワークショップ、講演会、ニュースレターの発行や大麻地区における住みかえ相談窓口の運営などを行っています。計画に沿って段階的な取組を進めているところであり、成果指標の「市街地整備に満足している市民割合」は横ばい傾向となっています。</p>																											
	05-02 交通環境の充実																											
	<p>・バス利用者の減少に伴う減便や路線の廃止などが発生しているため、駅を中心としたバス路線の再構築などに向けた検討を進めています。平成26年度は、地域公共交通会議を設置し、駅を中心とした新路線の調査や実証運行に向けた専門的な検討を行っています。計画に沿って段階的な取組を進めているところであり、成果指標の「交通環境に満足している市民割合」は横ばい傾向となっています。</p>																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>政策の成果指標</th> <th>単位</th> <th>(初期値)</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)</td> <td>%</td> <td>76.7</td> <td>77.1</td> <td></td> <td></td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)</td> <td>%</td> <td>57.9</td> <td>60.8</td> <td></td> <td></td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)	%	76.7	77.1			↗	交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)	%	57.9	60.8			↗
	政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標																					
	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)	%	76.7	77.1			↗																					
交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)	%	57.9	60.8			↗																						
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況																												
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「大麻地区住環境活性化事業」 大麻地区の人口</td> <td>人</td> <td>28,652</td> <td>28,801</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員</td> <td>千人</td> <td>548</td> <td>548</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>							「大麻地区住環境活性化事業」 大麻地区の人口	人	28,652	28,801			→	「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員	千人	548	548			→								
「大麻地区住環境活性化事業」 大麻地区の人口	人	28,652	28,801			→																						
「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員	千人	548	548			→																						

政策 08	政策展開の方向性						
	江別市自治基本条例の理念に基づき、市政への市民参加を進めるとともに、市民、自治会、市民活動団体、企業、大学などの各種団体と連携して魅力ある協働のまちづくりを推進します。また、グローバルな視点に立ち、人材・団体の育成を進め、在住外国人とも協力し合うなど、国際交流を推進します。						
協働	平成26年度の取組状況報告 （前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載）						
	08-01 協働のまちづくりの推進						
<p>・市内4大学は江別市にとっての知的資源、財産であることを踏まえ、大学と地域との連携を進めるため、調査研究助成事業や学生地域活動支援事業において、募集時期、募集方法を見直すなど、予算の範囲内で、可能な限り採択できるよう努めました。今後は、さらに学生の増加や大学と地域のつながりを強化するために、調査研究や地域活動の成果を、市民や企業等に対する情報発信を充実させ、また、平成26年度にメニュー化した、大学版出前講座のPRを積極的に行い、自治会や企業等における活用を推進していきます。</p> <p>・協働のまちづくりを進めるためには、協働を担う人材を育成する必要があります。このために開始した協働を担う人材育成事業については、当初、市民を講師とした出前講座の登録制度を構想していたものの、講座の対象分野や対象講師の選定が困難となったため、今後は、市民協働意識の啓発や実践事例を紹介するようなセミナー等の開催により、市民の市民協働への参加を促進することとしました。</p> <p>・協働のまちづくりの推進のためには、市政への市民参加が不可欠なことから、市民参加の仕組みの整備として、市民参加条例の制定に向け、市民アンケートやワークショップによる市民参加に関する意識やニーズ調査を行い、さらに、「江別市市民参加条例制定委員会」を設置し、条例の検討を行いました。</p> <p>・自治基本条例の理念や内容の認知度を高めるため、自治基本条例の啓発を行うとともに、平成26年度より新たに、将来のまちづくりを担う世代に向けた「協働」意識の啓発として、市内全小学校において、「協働」を知ってもらうためのリーフレットの配布や出前講座などを実施しました。</p> <p>・友好都市との都市間協力体制・連携強化を図るための地域振興を中心とした交流の構築として、友好都市土佐市との交流においては、小中学生相互交流派遣事業を引き続き実施したほか、市制施行60周年を記念し、土佐市特産品販売を開催するとともに、バレーボール交流試合を実施し、多くの土佐市民を江別に迎え、友好を深めることができました。</p> <p>・成果指標の「協働のまちづくりが進んでいると思う市民割合」、重点事業の進捗状況を示す「自治基本条例の認知度」は、初期値に比べてほぼ横ばいであり、今後とも継続的に啓発事業を進めていきます。</p>							
08-02 国際交流の推進							
<p>・市民の国際交流への理解を深めるため、引き続き、中・高校生の姉妹都市グresham市への相互交流派遣事業を実施しました。また、ホームページのリニューアルに合わせ、英語・中国語・韓国語の翻訳機能を追加し、在住外国人が生活する上で必要な情報提供の充実を図り、外国人にとって住み良いまちづくりの推進に努めました。さらに、国際センターでは、新たなイベントを企画・開催し、参加者数を増やすことにつなげることができました。その結果、成果指標である「お互いの文化や価値観を理解し、外国人と交流できる市民割合」が向上しました。</p>							
政策の成果指標		単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合		%	23.1	21.7			↗
お互いの文化や価値観を理解し、外国人と交流できる市民割合		%	42.7	51.5			↗
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「自治基本条例啓発事業」 自治基本条例の認知度		%	38.7	34.7			↗
「大学連携調査研究助成事業」 「大学連携学生地域活動支援事業」 補助事業本数		件	6	9			↗
「国際交流情報提供事業」 国際交流員が携わった地域国際化のための講座・イベント等の参加者数		人	895	964			↗

政策 09 計 画 推 進	政策展開の方向性						
	効率的な行政サービスの執行と健全な財政の確保により、市の基礎自治体としての機能を充実させ、自主・自立の市政運営を推進します。また、市政の透明性を確保するとともに、市民と市の情報共有を図るため、広報広聴の充実を図り、情報公開や個人情報保護制度を適正に運用します。 さらに、男女共同参画による市政運営を推進するために、男女平等意識の醸成に努めます。						
	平成26年度の取組状況報告 （前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載）						
	09-01 自主・自立の市政運営の推進						
	<ul style="list-style-type: none"> ・第6次江別市総合計画に合わせた効果的な行政評価の仕組みを構築し、PDCAサイクルによる進行管理により、まちづくり政策と未来戦略の成果向上を図るため、総合計画に合わせた新たな行政評価システム・調書を策定のうえ、評価を実施しました。併せて、「江別市行政評価外部評価委員会」の検討結果に基づき、6次総計における外部評価のあり方を確定させました。 ・第6次江別市総合計画を着実に推進するための個別計画として、総合計画の平成26年度を始期とする「江別市行政改革大綱」「行政改革推進計画」を策定するとともに、同計画に基づく、行政改革の取組を開始しました。 ・効果的・効率的な行政執行のため、管内8市町村により構成される札幌広域圏組合において、観光資源の再発見、掘り起こしや職員研修等、広域連携による情報発信や相互交流事業等、多分野にわたる連携事業を実施したほか、近隣市交流（江別市、厚別区、北広島市）では、各種行事での市民レベルでの交流を行いました。 ・全国的に若い世代の定住、就職等、地域定着が課題となっている中、市内大学と関係機関、近隣のみならず広域的な視点で他自治体と連携し、大学生の地域への定着や大学の知的資源の地域活用などが促進される新たな仕組みづくりの検討を開始しました。 ・成果指標である「市政運営に満足している市民割合は、横ばい傾向にあるものの、6割程度と一定の水準を保持しており、引き続き成果向上に向け行政評価、行政改革などの取組を進めていきます。 						
	09-02 透明性と情報発信力の高い市政の推進						
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政の情報の共有化を推進し、市政への信頼を高めるために、市民が状況に応じて行政情報入手できる環境整備を進め、さまざまな機会を通じて市民が意見を提案しやすい環境づくりにを進めるため、市民の関心が高い行政・地域情報の発信と、市民の意見が市政に反映されるよう広聴の充実を努めました。 ・市民と行政の情報の共有化のため、広報誌は分かりやすく読みやすい誌面づくりや特集記事の更なる充実を図りました。市のホームページはコンテンツマネジメントシステム（CMS）導入から2年目を迎え、更新の容易さを利用して、より新しい情報の掲載に努めました。その結果、重点事業の進捗状況を示す「広報えべつを読んでいる市民の割合」は、87.8%と高い水準を維持しました。また、ホームページのアクセス数についても順調に伸びています。 ・江別市の認知度とイメージを高めるための取組を総合的・戦略的に実施するため、新たに企業、大学、市内団体などとともに推進組織を立ち上げ、SNSによる情報発信や、学生自らが編集した移住促進パンフレットの作成など、官民一体的な江別のプロモーションを実施しました。 ・成果指標である「行政運営の共有化を感じる市民割合」、重点事業の進捗状況を示す「広報えべつを読んでいる市民割合」とともに、一定の水準にはあるものの、横ばい傾向の推移となりました。 						
	09-03 男女共同参画による市政運営の推進						
	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度改定した、「江別市男女共同参画基本計画」に基づき、計画の重点項目として位置づけられた男女共同参画意識の醸成に向けた講演会を実施するとともに、新たに子育て等と就労の両立を望む女性に向けた、複合的な就職支援イベントを実施しました。 ・成果指標である「男女が平等だと思う市民割合」、個別計画の進捗状況を示す「男女共同参画の考え方が必要だと思う市民割合」は横ばい傾向にあります。市民意識の醸成には、時間を要することから、計画に基づく取組を継続的に進めていきます。 						
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度
市政運営に満足している市民割合		%	64.7	59.4			↗
行政情報の共有化を感じる市民割合		%	72.7	65.8			↗
男女が平等だと思う市民割合		%	48.7	44.3			↗
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「行政評価推進事業」 まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合		%	—	40.7			↗
計画的に成果が上がっている事務事業の割合		%	93.0	89.5			↗
「広報えべつ発行业」 広報えべつを読んでいる市民の割合		%	84.8	87.8			↗
「江別市男女共同参画基本計画」 男女共同参画の考え方が必要だと思う市民割合		%	55.6	53.4			↗

2. えべつ未来戦略(企画政策部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
<p>戦 略 1 とものつくる協働のまちづくり</p>	<p>■1A 多様な主体が協働するまちづくり 「市民参加条例制定事業」(政策推進課) 「協働を知ってもらおう啓発事業」(政策推進課) 「協働を担う人材育成事業」(企画課)</p> <p>■1B 大学が活躍するまちづくり 「大学版出前講座支援事業」(企画課) 「大学連携調査研究助成事業」(企画課) 「大学連携学生地域活動支援事業」(企画課)</p>
<p>戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化</p>	<p>■2C 雇用の創出と人材育成の支援</p>
<p>戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり</p>	<p>■3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり (えべつ版コンパクトなまちづくり) 「公共交通利用促進対策事業」(政策推進課(住環境活性化・公共交通担当)) 「大麻地区住環境活性化事業」(政策推進課(住環境活性化・公共交通担当))</p>
<p>戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート</p>	<p>■4A ニーズにあわせた効果的な情報発信 「協働を知ってもらおう啓発事業」【重複】(政策推進課) 「ウェルカム江別事業」(広報広聴課) 「えべつシティプロモーション事業」(政策推進課)</p>

3. 企画政策部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	573,222				
	特別会計 (B)	0				
	合計 (A+B)	573,222				
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	28				
	平均単価 (b)	7,853				
	人件費 (a×b)	219,884				
総 額		793,106				